

第125期 中間株主通信

2024年4月1日から2024年9月30日まで

ちから
つむぐ 技術、つなげる 未来

株主のみなさまへ | To Our Shareholders

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループはこの度2024年4月1日から2024年9月30日までの中間連結会計期間の決算を行いましたので、その概況についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間の売上高は34,523百万円（前年同期比3,340百万円の増収）となり、中間連結会計期間としては過去最高の結果となりました。また、損益面は営業利益が2,127百万円（前年同期比1,042百万円の増益）、経常利益は1,747百万円（前年同期比157百万円の増益）となり、いずれも中間連結会計期間としては過去最高の結果となりました。

一方、当社の自動車安全部品事業において過去に製造した製品について、納入先である完成車メーカーが顧客に対して実施した保証延長対応に伴う費用負担見込額として、製品保証損失を990百万円、また機能製品事業（防災関連）において、製造過程で発生した品質不良に伴う棚卸資産評価損等を130百万円、それぞれ特別損失として計上することといたしました。

その結果、親会社株主に帰属する中間純利益は275百万円（前年同期比1,019百万円の減益）となりました。

今回の問題を受け、製造、管理、検査等の手順やルールを改めて見直し、品質を最優先とする体制を再構築し、お客さまからの信用回復に努めてまいります。

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、自動車安全部品事業において、円安効果に加え、原材料費の市況変動分および労務費上昇分の一部を売価に転嫁した結果、業績が大幅に改善し、機能製品事業においても、主力のパルテム関連（管路更生事業）で過去最高水準であった前年度からの繰越工事を期初より着実に実施する等、順調に推移していることから、営業利益、経常利益において前回予想から上方修正いたしました。

戦略面では、売上規模の大きい自動車分野と管路更生分野での一層の成長が、当社の更なる発展には不可欠であり、固定費削減などの収益改善施策を進めつつ、豊田合成株式会社との協業を加速し収益拡大に繋げるとともに、管路更生事業では、安全確保および納期遵守を最優先に、着実な業容拡大に努めてまいります。

引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

取締役社長 財津 裕真



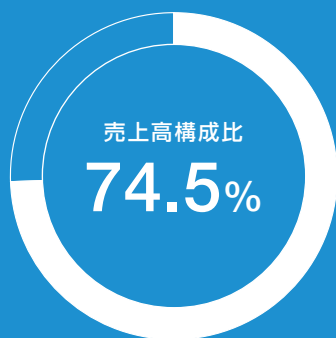
2024年12月

さらに詳しい財務情報は、
当社IRサイトをご覧ください。

<https://www.ashimori.co.jp/ir/library/result/>



自動車安全部品事業

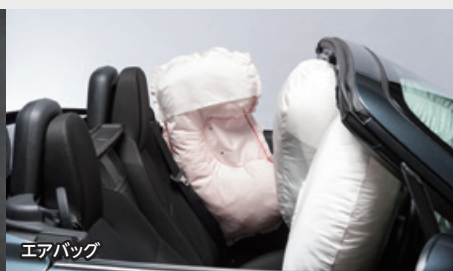
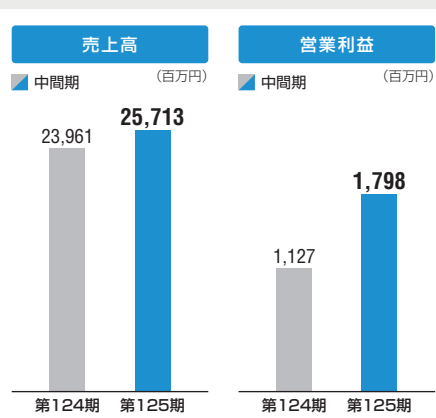


【売上高】 **25,713** 百万円

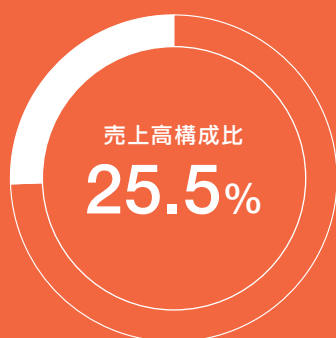
前年同期比
1,752百万円の増収 ↑

一部顧客および地域における生産調整の影響は収束し、円安効果に加え、原材料費の市況変動分および労務費上昇分の一部を売価に転嫁した結果、シートベルト関連では前年同期並みでしたが、エアバッグ関連、内装品関連においては前年同期比増収となりました。

この結果、当事業の売上高は25,713百万円（前年同期比1,752百万円の増収）となり、損益面も大幅に改善し、営業利益は1,798百万円（前年同期比670百万円の増益）となりました。



機能製品事業



【売上高】 **8,793** 百万円

前年同期比
1,589百万円の増収 ↑

バルテム部門

過去最高水準であった前年度からの繰越工事を期初より着実に実施し、前年同期を上回る水準で業績が推移しています。

防災部門

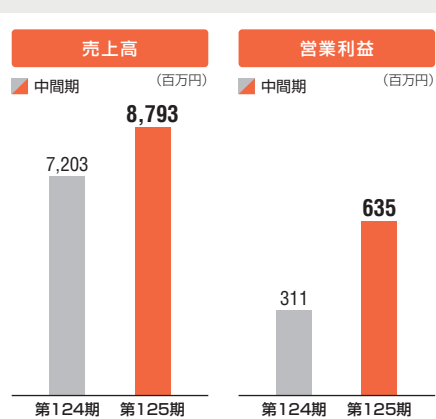
大口径ホースシステムの大型案件があった前年同期比で減収減益となりました。

産業資材部門

主力の広巾織物や物流関連など各製品の販売が前年同期比で堅調に推移しました。

また、新規分野である住宅・土木関連向け地盤改良商品は当期に大型土木工事事案件の施工・納入がありました。

この結果、当事業の売上高は8,793百万円（前年同期比1,589百万円の増収）となり、営業利益は635百万円（前年同期比324百万円の増益）となりました。



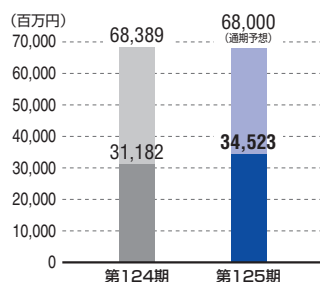
中間決算ハイライト | Interim Financial Highlights

売上高

34,523 百万円

前年同期比

3,340百万円の増収

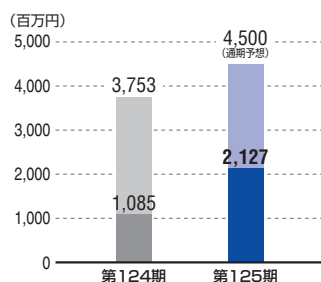


営業利益

2,127 百万円

前年同期比

1,042百万円の増益

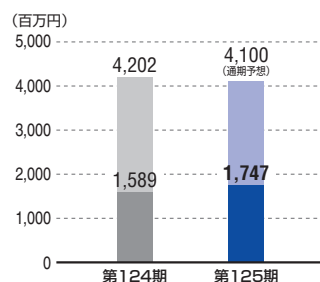


経常利益

1,747 百万円

前年同期比

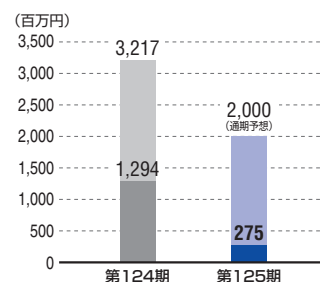
157百万円の増益

親会社株主に帰属する
中間(当期)純利益

275 百万円

前年同期比

1,019百万円の減益



■中間期 ■通期

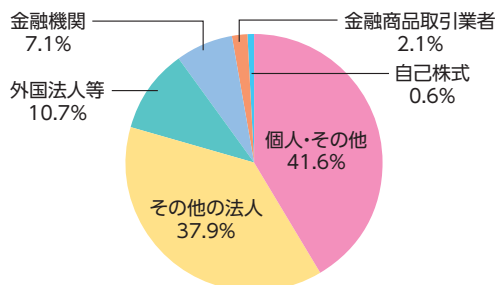
株式に関する事項 | Stock Information

(2024年9月30日現在)

株式の総数・株主数

発行可能株式総数	22,000,000株
発行済株式総数	6,056,939株
株主数	5,413名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
豊田合成株式会社	1,703,500	28.3
芦森工業取引先持株会	396,600	6.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	196,900	3.3
芦森工業従業員持株会	175,747	2.9
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	131,700	2.2
三協株式会社	112,000	1.9
MSIP CLIENT SECURITIES	89,600	1.5
棚橋 都	87,800	1.5
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	84,199	1.4
日本生命保険相互会社	67,018	1.1
合 計	3,045,064	50.6

(注) 持株比率は自己株式(37,625株)を控除して計算しております。

TOPICS

アシモリ・メキシコ(株)が表彰されました

当社グループのアシモリ・メキシコ(株)は2023年から当社の自動車安全部品生産技術部と共同で生産性改善活動に取り組んできました。

その改善意識がスタッフ内に浸透したことが奏功し、この度、メキシコのグアナファト州主催で開催された「Guanajuato Premio Estatal al Merito Laboral (グアナファト州労働功労賞)」において、改善チームが取り組んだ「シートベルトのシンクロギアの生産向上」など7項目の改善プロジェクトが表彰されました。



オールセーフ(株)が「熱気球世界選手権」に出場しました

当社グループのオールセーフ(株)は、2024年9月にハンガリーで開催された「熱気球世界選手権」に出場しました。同社は近年、地域社会への貢献と地域活動への寄与として工場がある佐賀県と宮城県で開催される「バルーンフェスタ」に参加し、地元の方々に親しまれております。今年は海外で開催された世界選手権に初参加しました。結果は118機中69位と世界の洗礼を浴び、満足な結果を残すことはできませんでしたが、当社グループの気球がハンガリーの空を飛行している姿は壮観でした。



会社概要

(2024年11月30日現在)

創設	業立	1878年11月7日
資本金		1935年12月27日
発行済株式総数		8,388,681,265円
本社・大阪工場		6,056,939株
		大阪府摂津市千里丘7丁目11番61号 (〒566-0001)
		電話 (06) 6388-1212
大阪支社		大阪府西區土佐堀1丁目4番8号 (〒550-0001)
		電話 (06) 6459-6060
東京支社		東京都千代田区岩本町2丁目6番9号 (〒101-0032)
		電話 (03) 5823-3040
篠山工場		兵庫県丹波篠山市西町40番地2 (〒669-2342)
		電話 (079) 552-1177
福井工場		福井県小浜市多田2号雲月8番5 (〒917-0026)
		電話 (0770) 56-1212
浜松工場		浜松市中央区小沢渡町26番地 (〒432-8063)
		電話 (053) 445-1522
連結対象子会社		芦森エンジニアリング株式会社
		オールセーフ株式会社
		ジェット商事株式会社
		芦森工業山口株式会社
		パルテム・テクニカル・サービス株式会社
		タカラ産業株式会社
		株式会社柴田工業
		アシモリ・タイランド株式会社
		芦森科技（無錫）有限公司
		アシモリ・インドアプライベートルミテッド
		アシモリ・コリア株式会社
		アシモリ・メキシコ株式会社
		アシモリ・ヨーロッパ有限公司

役員

取締役社長・社長執行役員	財津裕真	常勤監査役	嘉根裕樹
取締役・常務執行役員	榎本太司	監査役	大石賀美
取締役・常務執行役員	永富薫	監査役	森川光洋
取締役・執行役員	伊藤和良	執行役員	東克彦
取締役・執行役員	小山昭則	執行役員	稲川泰博
社外取締役	清水春生	執行役員	松永光行
社外取締役	岡田靖	執行役員	安田繁二
社外取締役	小川尚	執行役員	東康太郎
社外取締役	古川和義	執行役員	上田泰裕
		執行役員	土井淳二

株主メモ | Shareholders Memo

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間とします。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
配当金受領株主確定日	期末配当金の基準日 3月31日 中間配当金の基準日 9月30日
基準日	定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日とします。 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告し、基準日を定めます。
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社インターネットホームページアドレス https://www.ashimori.co.jp
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪府中央区伏見町3丁目6番3号 (〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話料無料) 0120-094-777
株式上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

① 単元未満株式の買取・買増制度の概要

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

(例) 当社株式を30株ご所有の場合、その30株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。

買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元(100株)の株式にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

(例) 当社株式を30株ご所有の場合、70株を市場価格で当社から購入し、100株にする。

② お手続きの方法

単元未満株式が記録されている口座によってお手続きの窓口が異なりますので、ご注意ください。

◎ 証券会社の口座に記録されている単元未満株式

お取引口座のある口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。

◎ 特別口座に記録されている単元未満株式

三菱UFJ信託銀行(株)（特別口座の口座管理機関）にお問い合わせください。

※ 特別口座とは、株券電子化実施日において「(株)証券保管振替機構(ほふり)」をご利用でない株主さま（例：株券をご自宅や貸金庫に保管されている方）の権利を確保するために、当社が当該株主さまの名義で開設した口座です。

③ 手数料

単元未満株式が記録されている口座	当社に対する手数料	口座管理機関に対する手数料
証券会社の口座	無料	お取引口座のある証券会社等にお問い合わせください。
特別口座		無料

④ ご注意事項

- 買取価格および買増価格は、当該請求が当社の株主名簿管理人の事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所における当社株式の最終価格に当該請求株式数を乗じた額となります。
- 買取請求および買増請求をされた後の取り消しはできません。
- 決算期の基準日直前など、請求の受付を停止する期間があります。
- 買増制度を利用し単元株式に整理されても、特別口座のままでは市場での売却はできません。証券会社の口座にお振替えいただくことが必要となります。

このご案内は、単元未満株式の買取請求または買増請求を強制するものではありません。
請求に際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
なお、本状と行き違いにご請求済みの場合は、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。